



平成 19 年 8 月 3 日

各 位

初 穂 商 事 株 式 会 社  
代表取締役社長 齋 藤 悟  
( J A S D A Q ・ コード 7425 )  
問合せ先  
専務取締役管理本部長 高 野 温 志  
電 話 0 5 2 — 2 2 2 — 1 0 6 6

### 平成 19 年 12 月 期 中 間 及 び 通 期 業 績 予 想 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 19 年 2 月 9 日 付 及 び 4 月 20 日 付 に て 公 表 い た し ま し た 平 成 19 年 12 月 期 ( 平 成 19 年 1 月 1 日 ~ 平 成 19 年 12 月 31 日 ) の 業 績 予 想 を 、 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

#### 1. 中間期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日) 業績予想の修正

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	9,210	258	129
今回修正 (B)	8,668	183	77
増減額 (B-A)	△542	△75	△52
増減率 (%)	△5.9	△29.1	△40.3
(ご参考) 前期実績 平成 18 年 12 月 期 中 間	8,679	250	163

#### 2. 修正理由

売上高につきましては、3 月以降の建築需要の低迷により、86 億 68 百万円と予想比 5 億 42 百万円の減少となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上高の減少に加え建築需要が低迷するなか、旺盛な鉄鋼需要を背景に価格が上昇し、受注競争の激化から粗利率の低下を余儀なくされました。また、業容の拡大に伴う販管費の増加などにより、1 億 83 百万円と予想比 75 百万円の減少となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記理由により 77 百万円と予想比 52 百万円の減少となる見込みであります。

#### 3. 通期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日) 業績予想の修正

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	18,850	613	308
今回修正 (B)	17,920	423	201
増減額 (B-A)	△930	△190	△107
増減率 (%)	△4.9	△31.0	△34.7
(ご参考) 前期実績 平成 18 年 12 月 期 通 期	17,913	525	223

#### 4. 修正理由

売上高につきましては、民間の建設需要は一時の盛り上がりは欠くものの、全体としては堅調に推移するものと思われます。しかしながら公共工事は引き続き減少し、企業間の受注競争の激化が予想されることから、通期予想は179億20百万円と予想比9億30百万円減少となる見込みであります。

経常利益につきましては、上期の減少をカバーすべく価格上昇分の販売価格への転嫁を積極的に進めるとともに、経費の圧縮などに努力を重ねてまいりますが、売上高の減少の影響などにより4億23百万円と予想比1億90百万円の減少となる見込みであります。

当期純利益は、上記理由により2億1百万円と予想比1億7百万円の減少となる見込みであります。

- ※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上